（別紙4（2））

事業所名　グループホームあさひ塩野室

作成日：令和　3年　4月　16日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ご利用者もだが、事業所自体と地域との繋がりが希薄である。 事業所の存在を知ってもらい、地域との交流を図る。	自治会の方々に相談し、協力をお願いする。 道路から見える事業所の看板を書き替える。	自治会定例会に出席し、事業所の紹介と協力要請をする。（コロナウィルス対策緩和後） 塗料等道具を購入し、看板を書き替える。	12ヶ月
2	13	職員のスキルアップの場が少なく、施設内研修も現場に活かしきれてない。	ご利用者への支援内容の充実を図る。 機会があれば外部研修に参加する。	自分や他職員の支援内容の現状を把握し、各自良い点は拡散し課題点は他者の良い点は取り入れたり研修等で学び改善する。 研修は、より現場に活かし易い具体的な内容にする。	12ヶ月
3	20	ご利用者と馴染みの人や地域の方との繋がりが希薄である。	馴染みの人・地域を方々と交流を図れるような催しを企画・実行する。 同法人内の託児所の子供達と交流する。	運営推進会議で議題にあげ、参加者にご意見を頂く。 外部の方々を迎え入れ、一緒に歌ったり体を動かしたりできる催しを企画・実行する。 馴染みの場所への外出を計画し実行する。 （上記全てコロナウィルス対策緩和後）	12ヶ月
4	35	消防訓練の経験が少ない職員がいる。 夜間想定の消防訓練が不足している。 地域の方々との連携が確立されていない。	訓練の回数を重ね、常に災害時の行動が適切にとれるようにする。 地域の方に訓練に参加してもらう。 災害時マニュアルを周知する。	年間スケジュールを立て、可能な限りの職員が参加できるようにシフト調整をする。 主体的に参加できるよう役割分担をする。 地域の方に訓練参加を要請する。	12ヶ月
5	48	ADL・筋力低下への懸念がある。 日常的にレクリエーションや機能訓練が不足している。	身体能力低下防止の為の運動や訓練を日常に取り込む。	各職員に機能訓練に対する具体的な案を出してもらう。（内容・時間等） 朝の体操の時間を減らし、運動を取り入れる。	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。